

## 競技上の注意（個人戦）

審判長：八百野 真人

### <ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1 マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 ダブルスは原則ユニフォームを統一する。

### <進行について（別紙1・2）>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。  
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は別紙記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子ダブルス4回戦以降ならびに女子ダブルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女ともにダブルス全部と、シングル2回戦までの試合、2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

### <県大会出場決定戦について>

- 1 男子ダブルス（本戦トーナメント3回戦で負けた32組から、24組を選ぶ）  
第1ステージ 32→16（全16試合） 勝者（16組）は決定、敗者は第2ステージへ  
第2ステージ 16→8（全8試合） 勝者（8組）は決定、敗者は終了
- 2 男子シングルス（本戦トーナメント4回戦で負けた64人から48人を選ぶ）  
第1ステージ 64→32（全32試合） 勝者（32人）は決定、敗者は第2ステージへ  
第2ステージ 32→16（全16試合） 勝者（16人）は決定、敗者は終了
- 3 女子ダブルス（本戦トーナメント2回戦で負けた24組から4組を選ぶ）  
トーナメントを4つのブロックに分けて4組を選びます。  
第1ステージ 勝者は第2ステージ  
第2ステージ 第1ステージ勝者の3ペアで決定リーグを行い1ペア選出
- 4 女子シングルス（本戦トーナメント3回戦で負けた48人から8人を選ぶ）  
トーナメントを8つのブロックに分けて8人を選びます。  
第1ステージ 勝者は第2ステージ  
第2ステージ 第1ステージ勝者の3人で決定リーグを行い1人選出
- 5 11点の3ゲームスマッチ（2ゲーム先取）とする。
- 6 対象者は、本部にて本選の結果処理および敗者審判後、決定戦本部席で参加確認を行う。
- 7 決定戦により、県大会出場の権利を得た場合、決定戦本部席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 8 決定戦初戦の審判は本選の敗者が行い、以降は試合のない決定戦勝者・敗者で指名する。